

山陽小野田市議会タブレット端末導入・通信保守業務に係る プロポーザル審査について

1 趣旨

山陽小野田市議会では、議会のICT化を推進し、議会関連資料など必要な情報を電子データによって共有するための環境等を整備し、議会運営の効率化、議会活動の活性化を図るとともに、用紙類や印刷費、作業時間等のコスト削減を図りたいと考えています。

そのために必要となる「タブレット端末」については、様々な事業者から多くの機種が提供されているが、本市議会では、操作体系が一貫しており、かつ直感的に使えること、機種が古くなった場合でも無料アップデートにより常に最新の機能が利用できること、高いセキュリティを備えていること等に鑑みて「iPad Pro」を導入することとし、その中でも視認性と携帯性を兼ね備えた「11インチ」のものとししました。

その導入及び通信保守業務の内容には技術的・専門的な知識が求められるため、所定の予算内で本市議会に最適なシステムを導入し、最小のコストで最大の効果を発揮するため、より優れた技術力を有する事業者を選定するため、プロポーザル方式による業者選定を行いました。

2 選定方法

公募型プロポーザル方式

3 最高得点者

株式会社NTTドコモ中国支社山口支店

4 プロポーザルの経緯

参加表明書の提出期限	令和5年	1月	6日
第1回審査委員会	令和5年	1月	19日
企画提案書の提出期限	令和5年	2月	3日
第2回審査委員会	令和5年	2月	13日

審査結果及び受託候補者の決定 令和5年 2月13日

5 プロポーザル参加事業者

2者

6 審査方法

各審査員が審査基準表の審査項目ごとに4段階で採点する方式としました。

審査員1人当たり、1提案者に対して合計100点の配点とし、審査員の採点を集計して、その点数が最上位の者を受託候補者に選定の最上位の者を受託候補者に選定することとしました。

なお、候補者として特定されるためには、各審査員の評価点数の平均値が60点以上あることを必要としました。